

中央図書館児童室だより

ちちんぷいぷい

2020. 10 月号

E1…^{にほん}日本のえほん E2…^{がいこく}外国のえほん

J…^{ちしき}ちしきのほん JF…^{にほん}日本のよみもの J92…^{がいこく}外国のよみもの

～今月のオススメ本～

『オレときいろ』E1

ミロコマチコ/^{さく}作 WAVE出版 ^{しゅっぱん}

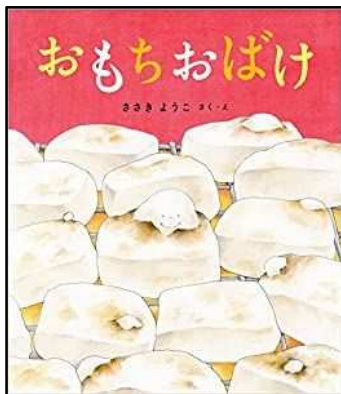
あるひ きいろは とつぜん やってきた。
きいろに きついたねこは つかまえようと
おいかけました。
ふりだす きいろ。さわぎだす きいろ。
ぐんぐんはえる きいろ。
はしりつかれたねこが ねむっているうちに
あたりいぢめん きいろにおおわれて…。
あざやかな きいろが げんきをくれる えほん
です。



『おもちおばけ』E1

ささき ようこ/^{さく}作・^え絵 ポプラ社 ^{しゅ}

くまくんは おしるこがだいすき。
ことしも おばあちゃんから おいしいおもちが
とどきました。
おなべで あずきを ぐつぐつにている あいだに
くまくんは おとうさんと おもちをやきます。
あっ たいへん! おもちが くつついて おおきな
おもちおばけに なっちゃった!
くまくんは おいしいおしるこを たべることが
できるのでしょうか?



児童室イチオシ!の新刊 えほん

『おならしたのだあれ?』E1



かのう とくひろ ちょ 加納 徳博/著 サンクチュアリ出版

ねえねえ おならって どんなおと?
 おおきい おなら。 ながーい おなら。 いろいろ
 おならの おとを だすと どうぶつたちが こたえ
 てくれるよ。

かわいい「おならのこびと」たちと おならの おとで
 あそんでみよう。

みんなで わらって たのしめる えほんです。

『これがぼくらにぴったり!』E2

アン・ローズ/作 アーノルド・ローベル/絵
 こみや ゆう/訳 好学社

むかし あるところに ロンソンさん というひとが
 いました。
 あるひ くつつもが きれて あたらしい くつつもを
 かいました。
 あるきだすと あたらしい くつつもなのに くつがおん
 ぼろなのが きになって…。
 ぱりっと めかしこんだ むたりの えをめぐると ぼろ
 ぼろの むくの むたりが こしかけて います。
 さあ ぼくらが みつけた ぴったりは なんでしょう?



『あるヘラジカの物語』E1

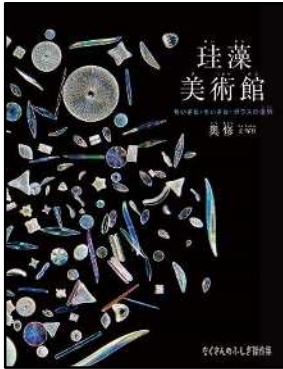
ほしの みちお げんあん すずき え ぶん
 星野 道夫/原案 鈴木 まもる/絵と文

あすなろ書房



つの 角をぶつけ合って 戦 うヘラジカのオス。 そのうち2
 頭の角がからまって、はずれなくなってしまいます。
 つか た あ とう まえ
 疲れて立ち上がれなくなった2頭の前にあらわれた
 のは、オオカミの群れでした…裏表紙にある、星野
 道夫さんの1枚の写真を元につくられた、厳しい
 大自然の中でつながっていくいのちの物語です。

子どもに読んでほしい！の新刊 知識



『珪藻美術館』 J47 才
奥修 / 文・写真 福音館書店

0.1 ミリにもみだないガラスの殻をもつ「藻」のなかま、それが「珪藻」です。水のある場所ならどこでもみつかるそうです。いろんな場所で採集したものを、きれいに洗って種類にわけ、顕微鏡を見ながら、ならべてできあがった珪藻アート。自然が作った複雑で美しい形に、驚き、魅了される1冊です。
新たに特装版として発行されました。

『オス・メスくらべるとこんなに違うつがい動物図鑑』
J48.1 マ丸山 貴史 / 著 しょうの まき / 絵
かんき出版

食べなくなっちゃうから愛する子どもと離れたり、モテたいから派手になったのに天敵にバシたり…生きるってやっぱり大変！
ほ乳類から爬虫類・鳥類・魚類・両生類まで、オスとメスの「違いが面白い」動物をイラストでわかりやすく紹介しています。生きものを知ることがもっと楽しくなる1冊です。



『パワーブック』 J15 八
クリア・サンダース / 著 東京書籍

世の中にはあらゆる「力」が働いている。
日常の中での力、世界を変える力、あなたの力。
力とはいったいなんだろう？どんなふうに生まれ、使われ、関わっているのだろうか？
力の使い方を知ること、あなたの世界をよりよくするヒントを見つけよう！

じどろしつ じんかん よ も の
児童室イチオシ!の新刊 読み物

『山のトントン』 JF ヤエ

やえがし なおこ/作 松成 真理子/絵 講談社

くまの子トントンはあそぶのが大好き。きのぼりも大好き。
そしてなによりも好きなのはお母さんのてづくりドーナツ。
お兄ちゃんのブルブルとは、ドーナツの取り合いでケンカを
する時もあるけど、家族みんな仲良くくらしています。
森でくりの実を集めたり、ふかふかの枯れ葉の上でねころん
だり、おいもをほったり…秋の山には楽しいことがいっぱい
です。



『ぼくのあいぼうはカモノハシ』 J94 エ

ミハヤエル・エングラール/作 はたさわ ゆうこ/訳
すぎはら ともこ/絵 とくましょてん
杉原 知子/絵 徳間書店



ルフスはドイツに住む男の子。お父さんはエンジニアで
オーストラリアに単身赴任をしています。
ある日、動物園から逃げ出してきたカモノハシと出会います。
そのカモノハシは人間の言葉をしゃべりだして…!
ふるさとのオーストラリアに帰りたいカモノハシを手伝う
ことになったルフス。
彼らは無事、オーストラリアに行くことができるのでしょうか?

ルフスとカモノハシのやりとりが面白い冒険物語です。

☆定例おはなし会のお知らせ☆

毎週水曜日午前 11 時～

10月 7日、14日、21日、28日です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、先着順5組で実施いたします。

ご参加の際には、体調チェックにご協力をお願いいたします。

※状況によっては休止する場合がございます。ご了承ください。